



# 茨城県知事 大井川和彦氏 希望に満ちた未来へ 新しい茨城づくりを目指して

「活力があり、県民が  
日本一幸せな県」を目指して

あけましておめでとございます。皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

先の茨城県知事選挙では、県民の皆さんから力強い御支持と御支援をいただき、県政の舵取りを担わせていただくこととなりました。誠に光栄であるとともに、その職責の重さに改めて身の引き締まる思いです。

茨城を取り囲む環境が大きく変わり、激動の時代を迎える今、私たちは誰も答えを知らない、未知の挑戦をしていかなければなりません。県民の皆さんと力を合わせながら、私がこれまで培ってきた官民双方での経験や人脈などをすべて投入するとともに、若さと行動力を最大限発揮し、「活力があり、県民が日本一幸せな県の実現に向けて全身全霊で挑戦していきます」。

今後10年間に何をやるかで  
茨城の未来が大きく変わる

今、日本社会全体が未曾有の人口減少・少子高齢時代を迎え、地域の活力が失われつつあります。茨城も例外ではありません。



柔道をやっていた頃に通った共楽館や夕日に映える大煙突は私の幼少期の思い出です。

く、東日本大震災以降、急激な人口減少が続いており、その対応が喫緊の課題となっています。

今回の知事選挙で県内をくまなく回り、いろいろな方々と直接お会いしてお話を伺うことで、さまざまな課題があることを認識するとともに、生活のあらゆる局面で人口減少の影響を強く感じました。各地で鉄道の廃線やバス路線の廃止が相次ぎ、生活を支える地域の公共交通機関は危機的な状況にあります。耕作放棄地や空き家が増え、商店街ではシャッターが降りたままの店舗が増加の一途をたっています。皆さんも身近で、そうした光景を目にしたことがあるのではないのでしょうか。

私は、人口減少が進む今後10年間に何をやるかで茨城の未来が大きく方向づけられると考えています。まさに今が正念場であり、茨城県は重要なターニングポイントを迎えていると言えます。人口減少に特効薬はなく、従来、是とされてきた処方箋、常識は通用しません。今こそ、変化の後追いはなく、自ら変革の先頭に立って、新しい時代を切り拓いていくことが求められています。

県民の皆さんと共に、四つの  
新しい茨城づくりに挑戦する

「活力があり、県民が日本一幸せな県」を実現するために、新しい豊かさ、新しい安

## 「自ら先頭に立って、 新しい時代を切り拓いていく」

心安全、新しい人財育成、新しい夢・希望、この四つの新しい茨城づくりを進め、茨城の潜在的な成長力をしっかりと引き出していきたくと考えています。

具体的には、第一に、茨城に暮らす方々が、豊かさを実感できるようにするために、「新しい豊かさ」として、新しい産業の創出やIT技術を活用した働き方改革を推進し、質の高い雇用を生み出していきます。

さらに、私が先頭に立ってトップセールスを行い、企業立地や東京圏に集中する本社機能の誘致等を強力に進めるとともに、全国第2位を誇る農業をさらに発展させ、県産品のブランド化や海外への輸出展開など、海外を見据えた新しい市場を開拓していきます。

第二に、人口流出を食い止めるためには安心安全が基本となりますので、「新しい安心・安全」として、地域医療の充実や災害対策、治安対策を強化します。なかでも、医師不足は非常に深刻な問題となっています。現状を抜本的に解決するために、医療従事者の勤務環境の改善や、医療機関の再編統合など、あらゆる選択肢を検討していきます。

第三に「新しい人財育成」です。あらゆる分野における力の源泉は人ですので、グローバルで活躍できる人財を育成するため、インターネットを介したプログラミング教育や、教室と海外を繋いで双方向で英会話を行う英語教育など、ICT

を活用した取組を推進していきます。

第四に、茨城を将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、「新しい夢・希望」として、観光創生や本県の魅力度向上などに取り組むとともに、間近に迫った「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」や「2020東京オリンピック」に茨城の魅力を発信していきたいと考えています。

これら四つの新しい茨城づくりは決して簡単なことではありません。しかし、新しい発想で、諦めず、常識を疑い、自ら変わる勇気を持って挑戦すれば、必ず希望に満ちた茨城の未来を築くことができると信じています。

県民の皆さん一人ひとりが地元・茨城のために、地域のために何ができるかを考え、自ら行動する、そういう茨城県を県民の皆さんと共に創りたいと考えています。今こそ、皆さんの力を結集し、新しい茨城づくりに挑戦していきますよ。



茨城県の底力を引き出すために、あらゆる分野において挑戦します！

### 大井川 和彦

おおいがわ かずひこ

1964年4月3日生。土浦市生まれ。日立市立宮田小学校、茨城大学教育学部附属中学校、茨城県立水戸第一高等学校、東京大学法学部を卒業。フジテレビ大学ロースクール修了。1988年通商産業省(現・経済産業省)入省。2003年マイクロソフト・シスコシステムズ、2016年株式会社ダウンゴ(ニコニコ動画運営会社)に入社。2017年茨城県知事選にて当選を果たし、就任。趣味は読書、音楽鑑賞、スポーツ全般。